

# テーマ:「やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト」の推進



(関係部局: ◎みらい企画創造部、しあわせ子育て応援部、産業労働部、観光文化スポーツ部、教育局、各総合支庁)

## ○目的

「米沢トンネル(仮称)」の早期実現や、県内の鉄道の維持・発展を図るためには、県内全域にわたって、鉄道の利用拡大及び駅を中心とする地域の活性化に取り組む必要がある。

このため、沿線活性化の取組を広く発信することで、県民の取組への参加を促し、「地域の鉄道を大切にしよう」というマインドを醸成して、鉄道及び駅からの二次交通の利用を促進する。

取組項目	目標 (定量的 目標指標)	主要 ターゲット (エリア・訴求対象)	ポイント (情報発信のタイミング、媒体、 手法・デザインの斬新性等)	他部局との連携に 当たっての工夫 (手法等)	結果・成果(アウトプット・アウトカム 指標)、評価・課題等
やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト推進協議会における協働での情報発信		県民、本県への来訪者	プロジェクトの取組に限らず、駅周辺など沿線活性化につながる事業について幅広く情報発信		○HP等を活用した取組の周知、取組成果のPR 【県HP等での情報発信 32回】 ・駅周辺イベントカレンダー ・協議会会員の取組のPR
大学との連携による情報発信	県HP、SNS等での情報発信回数 30回	県民(主に若者)	学生と連携することによって、若者をターゲットとした効果的な広報ツールを制作	○駅周辺で実施するイベント等について相互に情報発信 ○イベント時の鉄道利用のPR	○学生発案による広報ツール(ロゴマーク、ポスターデザイン)の制作 【県政広報番組で放送】 ・制作物は翌年度以降に活用
JR東日本との連携による情報発信		県民、県内外事業者、首都圏在住者	共同でプレスリリースすることによって、より広範に情報発信		○テレビや新聞、JR東日本HPによる事業のPR 【テレビ8回、新聞15回、HP5回】 ・山形新幹線等を活用した荷物輸送の実施(6回(5品目))

## ○総括

広報のターゲットや分野に応じて関係部局や大学、交通事業者等と連携し、効果的な情報発信に努めた。引き続き、関係者と連携のうえ、今年度制作した広報ツールを活用した広報・啓発や、プロジェクト専用のポータルサイトの開設による情報発信の強化に取り組む。